

ふくおかのふくし

Welfare of Fukuoka



福津市社協職員と市民後見人との打合せの様子(関連記事2頁)

今号の内容

- P1 成年後見制度の未来を支える市民後見人への期待
- P4 災害福祉支援ネットワークの推進
- P5 ふくふくNEWS
- P6 福祉分野への就職支援資金貸付のご案内
- P7 赤い羽根共同募金
- P9 ふくふくINFO

じぶんの町を良くするしくみ
赤い羽根共同募金
この広報誌は、一部共同募金の配分金を受けて発行しています。

ふくおかのふくし

ふくおかのふくし 183号 発行所／福岡県春日市原町3丁目1番地7 福岡県総合福祉センター(フローバー・プラザ)内 TEL(092)584-3377 FAX(092)584-3369 発行日／2021年(令和3年)12月24日 編集発行人／小川弘毅 印刷所／アロー印刷株式会社

UD FONT

見やすいユニークなフォントを採用しています。

令和3年度

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険

商品パンフレットは
コチラ(ふくしの保険)
(ホームページ)

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	
	通院保険金日額	4,000円	
	地震・噴火・津波による死傷	X	○
賠償責任の補償	賠償責任保険金(対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料	350円	500円	

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

<引受け事業> 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL: 03(3349)5137

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

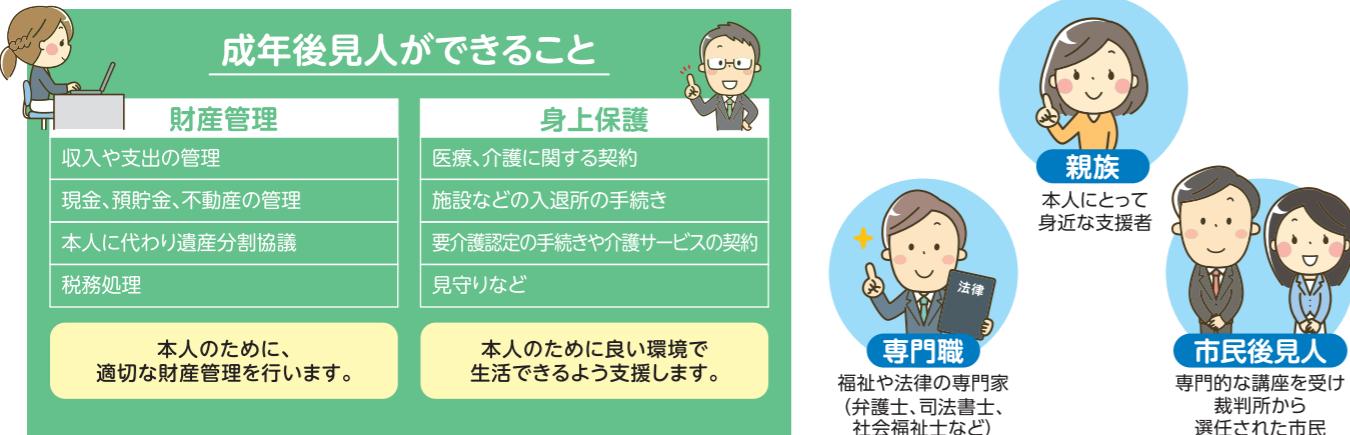
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763

受付時間: 平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一緒に結ぶ団体契約です。

(SJ20-12303 2020.12.28作成)



成年後見制度の未来を支える 市民後見人への期待



■県内の状況

県内では、市民が裁判所から後見人等に選任されたケースは稀で、法人後見の支援員として活動していた市民が、担当していた方の後見人となっているケースがある程度です。今後は国が策定した成年後見制度の利用促進計画を踏まえ、市民後見人の活動の場が広がっていくと考えられています。

現在、市民後見人養成研修を修了した方は、法人後見を実施している社会福祉協議会の後見支援員として活動したり、お住まいの市町村社会福祉協議会が法人後見を実施しないければ社会自立支援事業の生活支援員として活動したりしています。

福津市社会福祉協議会(以下、「市社協」という。)では、平成25年度から法人後見の実施主体として地域で権利擁護を必要としている方々を支援する一方、市民

ノーマライゼーション、自己決定権の尊重を基本理念として平成12年から始まった成年後見制度は、認知症や知的障がい・精神障がいなどで判断能力が不十分な方の権利を擁護する重要な手段であり、身上保護と財産管理の支援によって本人の地域生活を支える役割を果たしています。

制度開始当初は、ほとんどのケースで親や兄弟などの親族が後見人等となり、法的な手続きや金銭管理等の代理をしていました。しかし、近年は、一人暮らし世帯の増加や家族関係の希薄化等の影響により、配偶者や子等の親族後見人等の選任は全体の2割弱となり、多くが弁護士や司法書士、社会福祉士等の専門職や法人など、親族以外の第三者が選任されるようになりました。

少子高齢化が進むわが国では、地域包括ケアシステムや障がい者の地域生活への移行など、地域共生社会の実現を目的としたさまざまな取組が進められています。

■福津市社会福祉協議会の法人後見

福津市社会福祉協議会(以下、「市社協」という。)では、平成25年度から法人後見の実施主体として地域で権利擁護を必要としている方々を支援する一方、市民

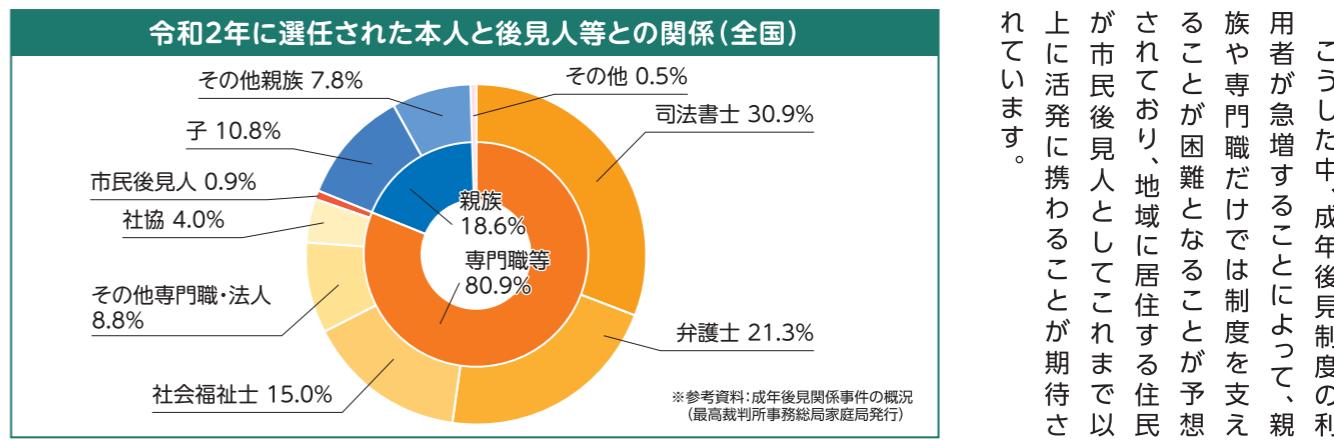
後見人養成研修を開催し、修了した地域住民が法人後見に協力する形で活動しています。

市長申立や、日常生活自立支援事業の利用者の中で、判断能力の低下で契約継続が困難になつた方々を中心に受任し、現在は4名の方の後見人となっています。

市社協では、一人の被後見人に對して二人の後見支援員(市社協では市民後見人と呼んでいます。)が担当となり、本人の生活状況の確認や入院費の支払い等の金銭管理を行っています。

法人後見を担当する市社協職員は、「市民後見人は皆さん、本人の気持ちや望む生活を真剣に考えながら活動されています。市民後見人が支援に参加することでき、生活に関わる細やかな配慮ができる、意思決定支援が強化され、身上保護が充実してきたと感じます。本人の不安を取り除かれて、本当に望む生活が実現できるようになるには市民後見人の役割は大きいです。」とその存在の重要性を話されました。

このように、市民後見人には、法的対応だけでなく、本人が望む生活ができるように意思決定の



■市民後見人の活動

市社協で後見支援員として活動している寺嶋さんと川上さんは、お二人とも、市社協が開催した市民後見人養成研修の修了者です。

お二人は、「養成研修を受講する際は、とても分厚いテキストを用いて、いざ活動を始めると職員から丁寧に支援の内容や、被後見人とコミュニケーションをとるコツなどを教えてもらい、スムーズに活動に入していくことができました。被後見人には意思表示が困難な方もいらっしゃいますが、被後見人と市民後見人の相性等も考慮していただき安心して活動ができます。」と社協職員のバックアップに感謝されていました。

現在、お二人は、病院に入院している被後見人の担当を二人で任されており、支援する日は一緒に行動し、毎月の入院費用の

福祉分野への就職支援資金貸付のご案内

介護分野就職支援金貸付

内容	他業種で働いていた方等で一定の研修等を修了し、県内の介護保険サービス施設・事業所で就労する方に対し、就職支援金の貸付を行います。
対象者	以下①から④の要件を全て満たす方 ①県内の介護保険サービス事業所・施設で主たる業務が介護職員等として就労した方 または就労するに至った方 ②介護職員初任者研修、または実務者研修を修了した方 ③初めて介護職員等として就労する方 ④「離職した介護人材の再就職準備金」または「障がい福祉分野就職支援金」のほか、同種の資金の貸付を受けたことがない方
貸付額	200,000円以内(1回限り) ※無利子
申請期限	介護職員等として就労した日から3ヶ月以内 ※令和3年4月1日から11月30日に就職した方は令和4年2月28日まで
返還免除の条件	県内で引き続き2年間介護職員等の業務に従事したとき
その他	※連帯保証人1名が必要です。 ※生活費補填のための貸付ではありません。 ※申請様式等は本会ホームページでダウンロードができますのでご活用ください。 ※申請の前に、必ず制度概要の書類等をご確認ください。

障がい福祉分野就職支援金貸付

内容	他業種で働いていた方等で一定の研修等を修了し、県内の障がい福祉サービス等を提供する施設・事業所で就労する方に対し、就職支援金の貸付を行います。
対象者	以下①から④の要件を全て満たす方 ①県内の障がい福祉サービス等を提供する事業所・施設で主たる業務が障がい福祉職員として就労した方または就労するに至った方 ②次のいずれかの研修を受講し修了した方 ・介護職員初任者研修 ・介護福祉士実務者研修 ・居宅介護職員初任者研修 ・障害者居宅介護従事者基礎研修 ・重度訪問介護従業者養成研修(基礎、統合及び行動障がい支援いずれかの課程と応用) ・同行援護従業者養成研修(基礎と応用の両方) ・行動援護従業者養成研修 ③初めて障がい福祉職員として就労する方 ④「離職した介護人材の再就職準備金」または「介護分野就職支援金」のほか、同種の資金の貸付を受けたことがない方
貸付額	200,000円以内(1回限り) ※無利子
申請期限	障がい福祉職員として就労した日から原則3ヶ月以内 ※令和3年4月1日から11月30日に就職した方は令和4年2月28日まで
返還免除の条件	県内で引き続き2年間障がい福祉職員の業務に従事したとき
その他	※連帯保証人1名が必要です。 ※生活費補填のための貸付ではありません。 ※申請様式等は本会ホームページでダウンロードができますのでご活用ください。 ※申請の前に、必ず制度概要の書類等をご確認ください。

問い合わせ・申込先 福祉人材センター TEL 092(915)7055

ふくふく NEWS



社会福祉の増進に多年にわたって貢献された皆様が表彰されました

去る10月26日(火)、福岡国際会議場(福岡市)で福岡県社会福祉功労者表彰式を開催しました。

表彰式において、福岡県知事、福岡県社会福祉協議会長、福岡県共同募金会長、福岡県老人クラブ連合会長から表彰状等の授与が行われました。

受賞された皆様、誠におめでとうございます。今後もますますのご活躍をお祈りいたします。



表彰者一覧

◆福岡県知事表彰(社会福祉功労者)

民生委員・児童委員	112名
社会福祉事業団体関係者	25名
社会福祉事業施設従事者	82名
心身障がい者自立更生者	2名
ボランティア等功労者	5名、13団体

◆福岡県知事表彰(高齢者福祉功労者)

老人福祉施設職員	14名
老人クラブ会長	24名
優良老人クラブ	18クラブ
老人ホームヘルパー	5名
老人クラブ連合会女性部長	4名

◆福岡県社会福祉協議会会長表彰

社会福祉事業特別功労者	185名
民生委員・児童委員特別功労者	49名
優良社会福祉事業施設	11施設
優良社会福祉協議会	2校区・1地区社協

◆福岡県知事感謝(社会福祉功労者)

民生委員・児童委員	57名
社会福祉事業団体関係者	21名
社会福祉事業施設従事者	76名
ボランティア等功労者	32名、22団体

◆福岡県知事感謝(高齢者福祉功労者)

老人福祉施設職員	6名
老人ホームヘルパー	19名
高齢者相互支援活動員	5名

◆福岡県社会福祉協議会会長感謝

社会福祉事業協助者	1名、19団体
会長表彰	115名

◆福岡県共同募金会会長表彰

会長表彰	個人23名、7団体
優秀地区	25市区町村支会、200校区分会

◆福岡県共同募金会会長感謝

会長感謝	個人88名、7団体
優秀地区	5年間に1度の表彰

◆赤い羽根キャッチフレーズ

最優秀作	1作品
優秀作	10作品
特別賞	28校

第60回九州地区知的障害関係施設長等研究大会(福岡大会)がオンラインで開催されました

去る10月20日(水)から21日(木)の2日間、「歴史を活かし、未来に向かってできること～福祉のイノベーションへ挑む～」をテーマに、第60回九州地区知的障害関係施設長等研究大会(福岡大会)が開催されました。今回で60回目を迎えた本大会は、Zoomを活用したライブ配信形式で開催し、九州各県から約333名の参加がありました。

1日目は、「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者 東田直樹氏とそのご家族による記念講演、公益社団法人日本知的障害者福祉協会 政策委員会委員長 社会福祉法人常磐会 理事長 久木元司氏による「社会福祉法人制度改革後の事業展開について」と題し、基調講演が行われました。

2日目は、5つの分科会に分かれ、当事者主体のあり方、社会福祉法人の役割、今こそ取り組むICT

の活用など、それぞれのテーマを基に、登壇者による事例発表や講演、パネルディスカッションなどが行われました。

本大会は、コロナ禍の状況に鑑み、初めてオンラインによるライブ配信で行われましたが、視聴されている参加者からの熱い思いが登壇者にも伝わり、各分科会では活発な意見交換等が行われました。

また、参加された九州各県の知的障害者関係施設役職員にとって、本大会の目的である、現実問題に向き合いながら、先人たちが築いた様々な実りをどのように活かし、次の世代につなげていくべきか、また、私たちが社会に求められている役割は何か、といった未来に向けた取組について共に考える機会となりました。

「令和3年度ふくおか課題解決応援プロジェクト」(テーマ型募金)

今年度は
「こども食堂啓発」、「産前産後ケア」のための活動を応援

募金期間 令和4年1月1日～3月31日

福岡県共同募金会では、共同募金運動の一環として標記プロジェクトを実施します。今年は、以下の団体がこの期間に募金活動を行いますので皆様の温かいご協力をよろしくお願いします。

ふくおか課題解決応援プロジェクトとは

NPO法人やボランティア団体などが身の回りの地域や社会課題解決のために行う活動を住民の皆様に丁寧に説明しながら、共感や賛同をいただける方から寄付を募り、その寄付金を共同募金会が団体に配分することにより課題解決につなげるもので

だれもがこども食堂に集えるように

実施団体 こども食堂パープル

<解決したい課題は>

地域社会を取り巻く環境の変化、さらにコロナ禍の影響もあり、老若男女問わず、「居場所がない」と感じる人が増えています。このような方々に「こども食堂」を知ってもらい、自分の意志でその場所を探して行けるようにする環境づくりが必要です。



<事業内容は>

「ふくおか筑紫こども食堂ネットワーク」と連携し、筑紫地区5市（筑紫野・春日・大野城・太宰府・那珂川）の「こども食堂」の開催場所や詳細などを記載した「子ども食堂マップ及びホームページ」を作成し、小中学校やコミュニティセンターに配布します。

地域でママと赤ちゃんを支えよう

実施団体 かすが居場所づくりネットワーク

<解決したい課題は>

コロナ禱の影響で、母親学級などの産前クラスや子育てサークルなどが中止となり、外出も制限される中、産前産後の母親の社会的孤立が産後うつ病の発症率を上昇させています。母親やご家族が不安なく毎日楽しく幸せに過ごせるような支援が必要です。



<事業内容は>

母子専門家の助産師がお家を訪問し、子育てに関する不安や心配などを解消する「産前産後ケア」を行います。また、食への関心を高め、時間にも心にも余裕を生み、乳児への愛着を育むために、栄養バランスの取れたお弁当を5日間配食します。（対象地区は、春日市及びその近郊）

募金方法

ご協力いただける方は、本会が作成する専用の振込用紙でお振込みができますので、本会までご連絡ください。

問い合わせ先

福岡県共同募金会
TEL 092-584-3388

つながりたすけあい運動 推進中
歳末たすけあい運動

共同募金運動の一環である「歳末たすけあい運動」には、市区町村の区域ごとに「地域歳末たすけあい」と県域で行う「NHK歳末たすけあい（県域）」の2種類があります。

「地域歳末たすけあい」は新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが孤立することなく安心して暮らすことができるようになります。

毎年、12月1日から31日までの1ヶ月間、「つながりささえあうみんなの地域づくり」をスローガンに本県をはじめ全国各地で取り組まれています。

また、「NHK歳末たすけあい（県域）」は、中央共同募金会とHK等との共催で行っています。

児童委員・社会福祉協議会などの関係団体等が実施する様々な福祉活動を資金面で支援するほか、その他、地域福祉サービス事業などにも使われます。

児童委員・社会福祉協議会などの関係団体等が実施する様々な福祉活動を資金面で支援するほか、その他、地域福祉サービス事業などにも使われます。



本年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化するなか、地域のつながりづくりの重要性を広く住民に発信するとともに、収や失業等による生活困窮や社会的孤立・孤独などの課題、そして新たに顕在化している生活課題の解決に向けた取組を支援してまいります。皆様の温かいご協力をよろしくお願いします。

歳末たすけあい募金の
つかいみち

地域では、「高齢者世帯に対する見守り・訪問活動」や「学童生徒が高齢者に年賀状を送る活動」、「クリスマス会などを通じた障害者共同作業所と地域の方々とのふれあい交流事業」、「防災事業」等の地域福祉活動に県域では、「児童福祉施設等の中学校・高等学校卒業者の進学・就職準備の支援」などに活用されています。



ふれあいネットワーク推進事業



ボランティア団体支援事業

支援を必要とする人に対する見守り、たすけあい活動をはじめとした、様々な地域福祉活動に活用されています。

クリスマス会を通じての地域交流などボランティア団体が普及し、活発に活動を行えるよう支援します。



NHK歳末たすけあい
+ NHK海外たすけあい
2021年1月1日～2021年12月31日



寄付・寄贈の御礼

福岡県民共済様からの寄付

福岡県民共済生活協同組合様から、創立35周年を記念し、社会貢献の一環として多額のご寄付をいただきました。

福岡県民共済生活協同組合様からの寄付は、平成18年度の創立20周年を記念した寄付をいたしましたことをきっかけに、今まで多くの小規模共同作業所や児童養護施設、母子生活支援施設等の支援に活用させていただいております。

ご厚情に深く感謝申し上げます。



福岡トヨペット(株)様からの寄贈

昨年に引き続き今年度も、福岡トヨペット(株)様から福岡県内の社会福祉施設に車いす19台を寄贈いただきました。

この取組は、平成19年11月30日に同社が創業以来新車累計販売台数60万台を達成されたことを記念して始められたもので、社会貢献活動の一環として、毎年多数の車いすを寄贈いただいているます。

ご厚情に深く感謝申し上げます。

(株)ツルハホールディングス様からの寄贈

昨年に引き続き今年度も(株)ツルハホールディングス様から福岡県内の社会福祉施設に車いす10台を寄贈いただきました。

この取組は、店舗を展開している地域への貢献を願い平成12年より始められたもので、その趣旨にご賛同いただいたクラシエホールディングス(株)様と共同で全国の店頭で行った共同キャンペーンの売上の一部で購入されています。

ご厚情に深く感謝申し上げます。

催し

福祉のしごと就職フェア WEB版 開催中!!

福祉のしごと就職フェア [WEB面談会] を10月から毎月開催しています。1回あたり約25法人が参加され、ZOOMのブレイクアウトルームを活用し、直接、参加法人とやり取りができます。最大で6法人と面談可能です。

日 時 令和4年1月15日(土)
2月19日(土)
3月12日(土)
13時から16時
(1法人あたり25分程度予定)

当日のタイムスケジュール

時間	内容
12:30～	求職者受付
12:45～13:00	オリエンテーション
1 13:00～13:25	個人面談、相談(最大25分)を最大6回繰り返していただけます。 ※参加申込状況によっては、複数人での面談となる場合がありますので、予めご了承ください。
2 13:30～13:55	
3 14:00～14:25	
4 14:30～14:55	
5 15:00～15:25	
6 15:30～16:00	
16:00	終了

対 象 福祉・介護分野への就職希望者(資格・経験は不要)・令和4年3月末大学・専門学校等卒業予定者
※事前登録必要



問い合わせ先

福祉人材センター
TEL 092(584)3310

WEBフェア
特設ページ



研修・講座

①社会福祉法人監事及び会計責任者研修

日 程 1月26日(水)

内 容 新たな制度改正への対応や法人運営・会計処理に関する確認項目、監査の実務とチェックポイント等

開催方法 オンライン研修

対 象 社会福祉法人の監事、会計責任者、理事、評議員、施設長等

定 員 140名

受講料 5,000円

申 込 福祉・介護研修センターHPで確認

②記録技術研修(障害児者分野)

日 程 基本コース 1月19日(水)
実践コース 1月20日(木)

内 容 基本コース: 利用者理解の視点とポイントや質の高いサービス提供のための記録の方法等
実践コース: 個別支援計画と連動した記録やリスクマネジメントと記録の重要性等

開催方法 オンライン研修

対 象 障害児者福祉施設・事業所等の役職員

定 員 各80名

受講料 5,000円

申 込 福祉・介護研修センターHPで確認

①・② 問い合わせ先

福祉・介護研修センター
TEL 092(584)3401

福祉・介護研修
センター
ホームページ



本会ホームページをリニューアル

本会では、令和3年12月24日からホームページをより見やすく、使いやすいものにするためにリニューアルを行いました。また、リニューアルに伴い、スマートフォンなどのモバイル機器での閲覧に対応させています。今後もインターネットやSNSを活用した情報発信の充実を図っていきます。

新たなホームページ

新: <https://www.fuku-shakyo.jp/>

主な変更点

◆トップページデザイン変更
情報が探しやすくなるように、各項目をトップページに集約しています。

◆操作方法の変更
メインメニュー項目にカーソルを合わせると、サブメニューのリストが出てくるようになりました。

◆モバイル機器への対応
スマートフォンなどのモバイル機器のどんな画面サイズでもわかりやすい画面表示に切り替えるように機能を追加しました。

2022年度版 社会福祉手帳・民生委員手帳 好評発売中

仕 様 携帯に便利なポケットサイズ(縦14cm×横8.5cm)

主な掲載内容 ・見開き月間スケジュール、週間スケジュール

・社会福祉関係法律の要点
・福岡県内の社会福祉施設、関係団体、各種相談窓口の連絡先など

申込方法 HP掲載の申込用紙に記入のうえ、郵送またはFAX、メールで下記あてお申込みください。後日、現品納入の際に請求書・振込用紙を同封いたします。(メールで申し込む場合はタイトルに「手帳発注」と記載し、申込書を添付してください)

**問い合わせ
・申込先**
福岡県社会福祉協議会 総務課
〒816-0804
春日市原町3-1-7 クローバープラザ西棟6階
TEL 092(584)3377
FAX 092(584)3369
E-mail info@fuku-shakyo.jp



定価 900円
(税込・送料別)

「ふくおかのふくし」へ掲載する広告募集

福岡県社会福祉協議会が発行する広報誌「ふくおかのふくし」に掲載する広告を募集しています。

「ふくおかのふくし」は7月、9月、12月、3月に20,000部を発行し、県内の市町村や社会福祉協議会、福祉施設などに配布され、多くの県民の皆様がご覧になっていただいているです。

問い合わせ 企画広報室 TEL 092(584)3377(代)

福岡県社会福祉協議会機関誌広告料

区分	大きさ	掲載料(税込)	
		会員	非会員
1枚	縦6cm×横8cm	44,000円	77,000円
2枚	縦6cm×横16cm	88,000円	154,000円